



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2018年 3月期

決算説明会

2018年5月10日

1

連結業績

(億円、%)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比	予想比
売上高	5,879	5,961	+82	101.4	99.4
営業利益	187	193	+6	103.3	99.3
経常利益	202	209	+7	103.6	102.4
純利益※	129	133	+3	103.1	103.0

※親会社株主に帰属する当期純利益

- ▶ 乳製品：家飲み需要の継続でチーズの販売好調（増収増益）
- ▶ 市乳：ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売好調（減収増益）
- ▶ ニュートリション：機能性食品の売上拡大（増収）
- ▶ 飼料・種苗：配合飼料の販売価格の上昇等（増収増益）

2017年度の重点取組み



乳製品

- ▶ 家庭用主力チーズの販売強化
様々なプロモーション展開による販売拡大
 - ・ポーションチーズ（前期比109%）
 - ・さけるチーズ（前期比104%）
- ▶ 原料乳価格の引き上げ等のコストアップ対応（価格改定）



市乳

- ▶ 機能性ヨーグルトの販売拡大によるプロダクトミックスの改善
ドリンクタイプヨーグルトの販売拡大（前期比112%）
小型プラボトルタイプの生産能力増強（京都工場稼働）

連結業績予想

（億円、%）

■ 経営成績 ■

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	5,961	6,050	+88	101.5
営業利益	193	190	▲3	98.1
経常利益	209	200	▲9	95.3
純利益※	133	135	+1	100.9

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.1%
------	-----	--------	-------

2018年度の重点取組み

収益基盤の複数化

キャッシュフローの最大化

チーズ・ヨーグルト等の販売拡大

プロダクトミックスの改善

価格改定・容量変更の実施

4つの事業分野



1. 乳製品事業分野

バター、油脂、
チーズ（国内・海外）



2. 市乳事業分野

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、
果汁・野菜・清涼飲料、
デザート



3. ニュートリション事業分野

粉ミルク（国内・海外）、
機能性食品 など



4. 飼料・種苗事業分野

飼料、
種子（牧草・飼料作物・野菜）、
造園 など

乳製品事業分野（業績予想）



【乳製品セグメント】 ニュートリション事業を含む

(億円、%)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	2,397	2,440	+42	101.8
営業利益	121	119	▲2	98.1

- ▶ 油脂：部分水素添加油脂不使用による商品改良を最大活用
- ▶ チーズ：価格改定とプロモーション強化等の販売対策

乳製品事業分野（チーズ）①



価格改定および容量変更の実施



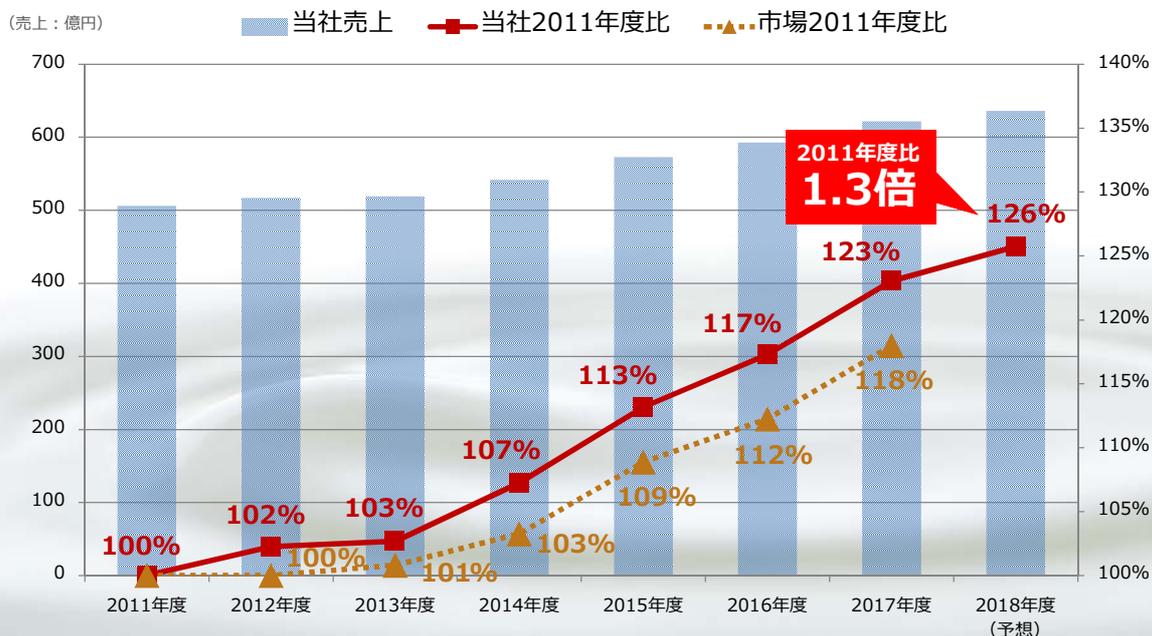
- ▶ 価格改定：①プロセスチーズ群 35品 (改定率：4.8～17.2%)
②ナチュラルチーズ群 24品 (改定率：4.3～6.4%)
- ▶ 容量変更： ナチュラルチーズ 3品 (変更率：-14.3%)

(価格改定：2018年5月1日出荷分より・容量変更：2018年5月1日以降順次切替)

乳製品事業分野（チーズ）②



【家庭用チーズの売上高および伸長率推移】



市乳事業分野（業績予想）



【飲料・デザート類セグメント】

(億円、%)

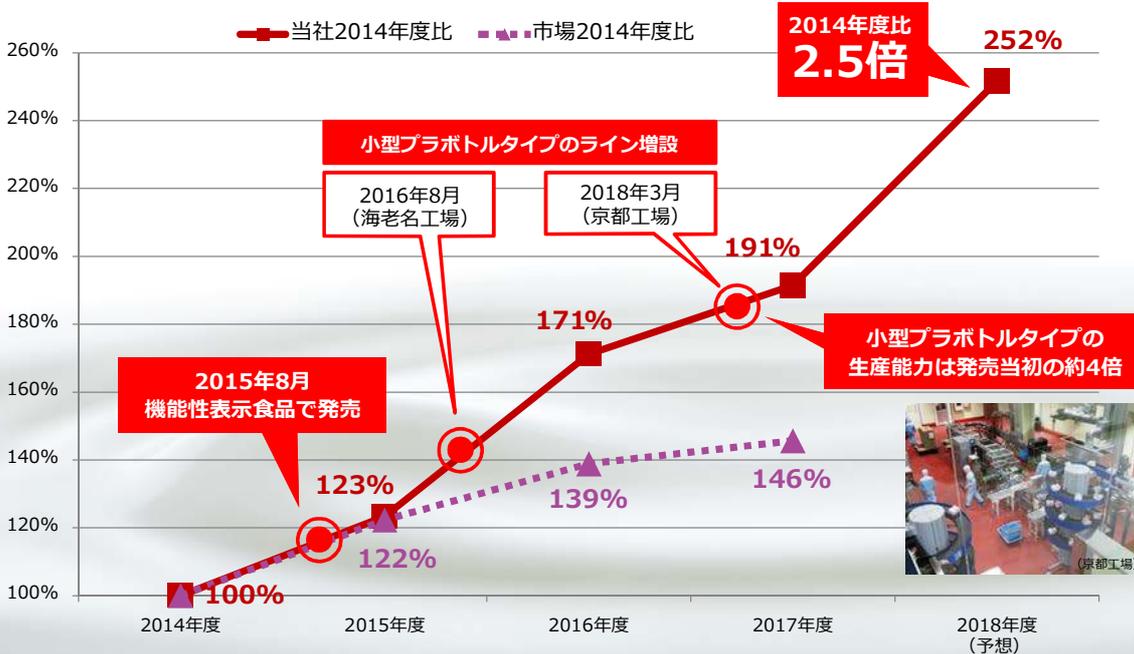
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	2,754	2,800	+45	101.6
営業利益	47	49	+1	102.9

- ▶ ヨーグルト：ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売拡大
- ▶ デザート：新デザートライン（ルナ物産）の活用

市乳事業分野（ヨーグルト）①



ドリンクヨーグルトの販売および市場動向



市乳事業分野（ヨーグルト）②



ガセリ菌SP株ヨーグルト商品群5品で前期比**1.5倍**を目指す

機能性表示食品

“ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす”



ベリーミックス
新発売

「ガセリ菌SP株」シリーズ5品の販売推移

前期比
1.5倍



特定保健用食品

“内臓脂肪を減らすのを助ける”

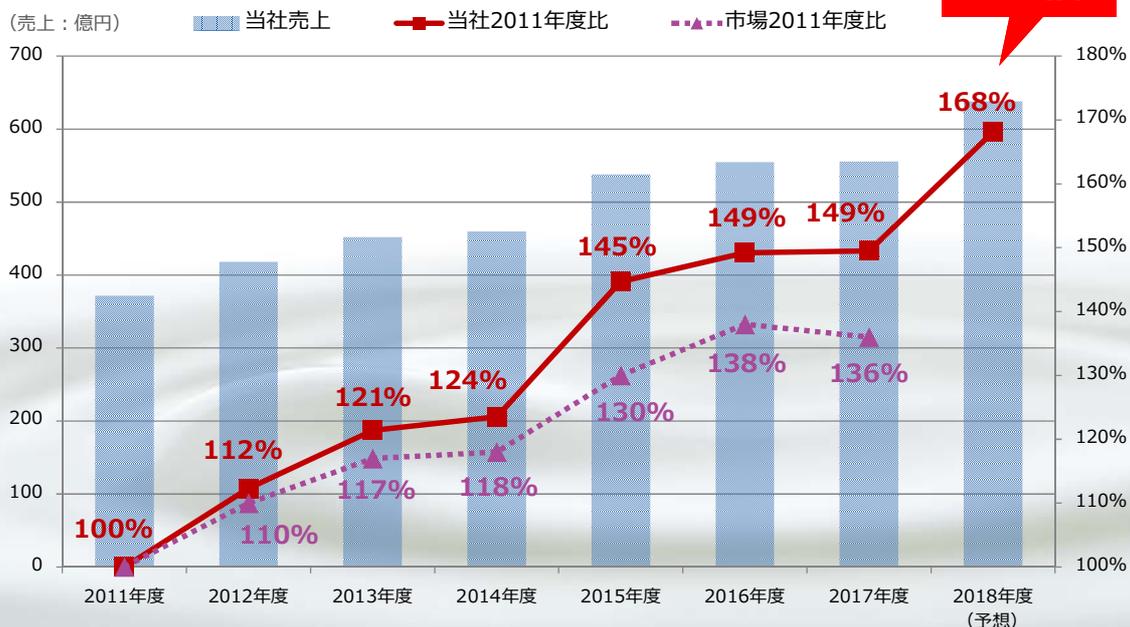


市乳事業分野（ヨーグルト）③



【家庭用ヨーグルトの売上高および伸長率推移】

2011年度比
1.7倍



ニュートリション事業分野（業績予想）



乳製品セグメントのうち、

【ニュートリション事業】

(億円、%)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	194	220	+25	113.2
(内訳)				
機能性食品	43	54	+10	125.5
粉ミルク等	151	166	+14	109.7

- ▶ 機能性食品：積極的なマーケティング投資の継続
- ▶ 粉ミルク等：成人向け粉ミルクの育成と拡大



【飼料・種苗セグメント】

(億円、%)

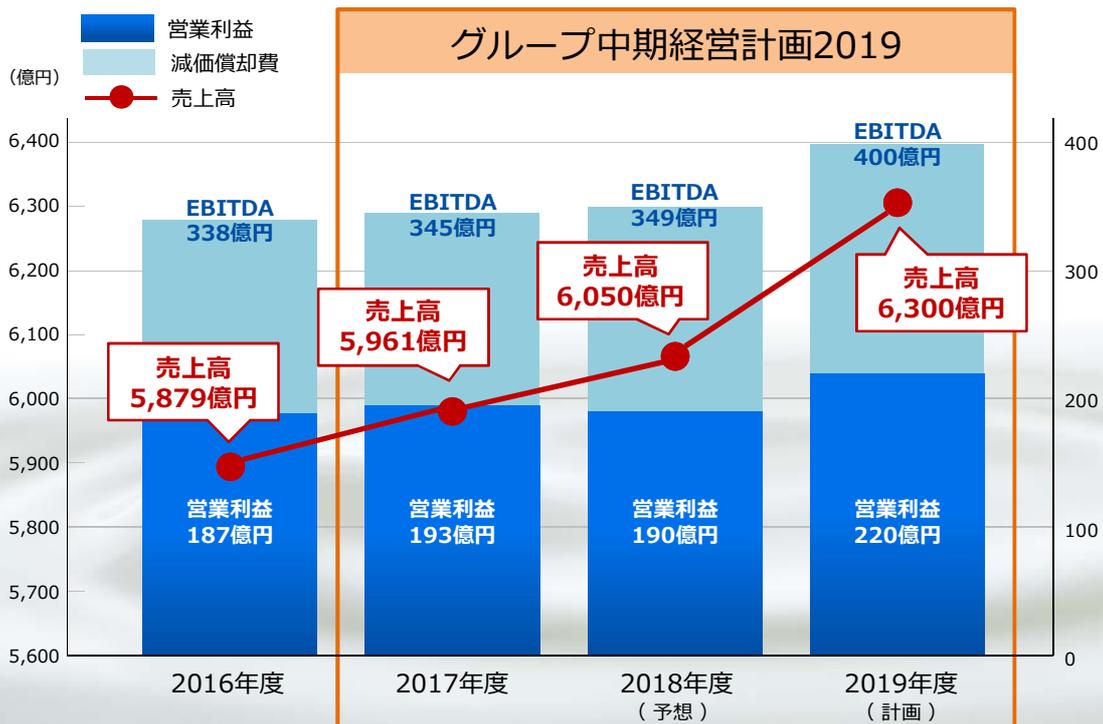
	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比
売上高	447	440	▲7	98.4
営業利益	13	10	▲3	74.0

- ▶ 種苗事業：新研究棟の活用による商品開発の取組み
- ▶ 飼料事業：持続可能な酪農経営に貢献する総合提案型営業の推進

グループ長期ビジョン2026（ロードマップ）

	中期経営計画		
	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	2017～2019	2020～2022	2023～2026
位置付け	Transformation (変革)の始動 グループ経営の 始動・推進	Transformation (変革)の加速 グループ経営の 展開強化	Renewal (進化)へ グループ経営の 加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の複数化 キャッシュフロー の最大化 ・生産体制進化への 着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の確立 ・生産体制進化の 本格始動 	<ul style="list-style-type: none"> ・4事業分野による 収益の安定的創出 ・調達・生産体制の 確立

中期経営計画の進捗



未来は、ミルクの中にある。

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。